

第3章 自転車活用の推進目標

1 基本理念

自転車活用の基本理念

自転車でつながりひろがる大山町の楽しさ

本町における自転車活用の基本理念は、「自転車でつながりひろがる大山町の楽しさ」とし、環境にやさしいライフスタイルの推進、スポーツとしてのやりがいや健康づくりといったクオリティ・オブ・ライフの向上、地域をつなげる魅力的な観光地域づくりによる賑わい創出など、自転車を通じていきいきと暮らし続けることのできる町を目指し、本町の楽しさがより拓かれていく自転車活用を目指します。

また、自転車を単なる移動手段としてではなく、環境・暮らし、スポーツ・健康、観光・地域振興などの様々な場面で様々な人々がつながり、自転車の良さを活かすことで生まれる大山の新しい価値の創造や魅力の再発見など、楽しさ自給率の高い持続可能なまちづくりにつながる自転車活用を推進します。

2 推進目標

本町の自転車活用の基本理念及び現状の課題等を踏まえて、次の5つの項目を本計画の推進目標とします。

【推進目標1～環境・暮らし～】

自然との共生につながるきっかけづくり

環境・暮らしにおける自転車活用は、日常生活では体力的に敬遠されやすいことや生活圏が広がることで自動車中心の移動とならざるを得ない実情を踏まえつつ、自転車を徒歩と同様に基礎的な移動手段と捉え、公共交通や自動車とのベストミックスを目指し、近距離の移動や電動アシスト付き自転車の活用など、身近なところから環境にやさしいライフスタイルにつながる自転車活用を推進します。

【推進目標2～スポーツ・健康～】

楽しみながら心と体の健康づくり

スポーツ・健康における自転車活用は、運動不足の解消にも役立ち、スポーツとしても魅力のある自転車を誰もが楽しめるものとなるよう、体力に応じたルート設定や競技大会の開催など、クオリティ・オブ・ライフの向上につながるサイクルスポーツの普及や楽しみながら健康づくりにつながる自転車活用を推進します。

【推進目標3～観光・地域振興～】

海から山までひろがる観光地域づくり

観光・地域振興における自転車活用は、サイクリングツアーの充実やレンタサイクルの活用を進めるほか、立ち寄り場所の多いルート設定や自転車に優しい宿泊・商業施設の受け入れ環境整備、「ダイジョウブシステム」の拡大・充実など、地域を自転車で巡り、沿線の魅力を楽しむ体験・滞在型のサイクルツーリズムの推進を図ります。また、公共交通機関との連携を図り、海から山まで周遊できる観光地域づくりを推進します。

【推進目標4～交通・安全～】

自転車に乗る「人」の安心安全づくり

自転車に乗る人の安心安全は、乗る人の命を守るために必要な交通ルールの徹底、自転車の日常点検や安全運転、ヘルメットの着用などの普及啓発等に努め、自動車・自転車・歩行者それぞれが互いの特性や交通ルールを理解し、安心安全に使うことができる人的な環境づくりを推進します。

【推進目標5～道路・まちづくり～】

自転車が走る「道」の安心安全づくり

自転車が走る道の安全安心は、路面表示や標識の整備により、自転車のみならず自動車・歩行者も快適に使うことできる道路環境を整えていくことや、サイクリングルート・生活道路といった道路の性格に応じた安全対策を講じること、また駐輪場の整備など自転車利用の利便性を高める物的な環境づくりを推進します。

3 施策の体系図

推進目標の達成に向けた取組施策を以下のとおりとし、第4章の実施する取り組みを通じて自転車活用の推進を図ります。

